

(1) ガイドラインについて

発言者	委員会意見	対応
西藤委員	ガイドラインはまちづくり計画の流れを汲んでいるものであるため、まちづくり計画について記載すべきだ。	P 2 に表現する。
大和委員	「地域の遺伝子」歴史、文化を感じるイメージとしているが、ガイドラインの中に概念がどのように盛り込まれているのか、越前市ならではの伝統産業等とどのように結びつくのか見えてこない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・P10 視点場と景観軸を設定し、緑の見え方連続性への配慮を誘導。</li> <li>・P11 外壁色の彩度や、樹種を周辺を参考に具体的に示す。</li> <li>・P13 緑の配置について、敷地内緑地の連続性、景観軸沿いへの緑地の配置など緑のネットワークの形成を誘導。</li> <li>・P4 を見直す。</li> </ul>
西出委員	遺伝子という言葉の使い方が適切ではないのではないか。伝統産業、文化など具体的に示したほうがわかりやすい。	遺伝子という言葉で「伝統産業、文化」に修正する。
西藤委員	スマートシティの実現は開発方針5に明記されているが、フォレストシティはどこで実現するのか。	開発方針3及び4を中心に考えているが、全体で実現すべきものなので、開発方針5のスマートシティのタイトルを変更する。
田中委員	営農に配慮した夜間照明の基準を示したほうがよいのではないか。	開発方針2において、方向の調整や遮光、発行方法の工夫等により「光害」の発生を防ぐよう配慮を求めている。
西藤委員	南越駅の呼称は新幹線駅に改めたのか。	「新幹線駅周辺」と表現する。
西藤委員	駅前という表現は好ましくない。駅周辺で統一すべきではないか。	「新幹線駅周辺」で統一する。
田中委員	居住は誘導するのか。	住宅地開発のみを誘導しないが、機能を誘導にあたり、例えば生産機能の従業員住宅のニーズなど、必要があれば検討する。
下川会長	ゾーニングにあった施設例としてこれでもいいのか、建物用途ももう少し整理した方がよい。	フォレストシティ・越前市版スマートシティを実現する上で、特徴ある建物を例示する。

(2) フォレストシティ・越前市版スマートシティについて

発言者	委員会意見	対応
西出委員	フォレストシティと越前市版スマートシティが漠然としている。	ガイドラインP 4 を見直す。
西藤委員	フォレストシティ・越前市版スマートシティが別々ものなのか、重なっているものなのかを明記すべきではないか。	ガイドラインP 4 の図を見直す。
田中委員	フォレストシティ・越前市版スマートシティの具体化を明確にした方がよい。	ガイドラインP 4 を見直す。
下川会長	フォレストシティの世界観でエリア全体が作られ、スマートシティがそれを受け止めていく。	ガイドラインP 4 を見直す。
下川会長	「人の手業」の手業がポイントだと思う。手業とは、営農、紙漉き、箆笥、打ち刃物等であるが、こうした歴史、文化がスマートシティにどのように入れ込められるのか、実現策が必要だ。	ガイドラインP 4 を見直す。
下川会長	フォレストの考えは景観だけではない。文化を生活文化の継承と捉え、農地の積極的な活用を考える必要がある。	ガイドラインP 4 を見直す。
		越前市版スマートシティについて第5回委員会で別途資料を提示

西出委員	送電線下に緑地や農地を集約し、フォレストシティを具現化するというような強い方向性を示すべきでは。	土地利用にかかる資料を踏まえ、地域と方向性を共有しながら土地利用を誘導する。
西藤委員	フォレストシティ・越前市版スマートシティの実現のために、公共が先導的に都市基盤を整備するべきではないか。	具体の土地利用ニーズに合わせ、公共として先導的に整備すべき内容を検討していく。

(3) 土地利用調整について（農地の集約・継続を含む）

発言者	委員会意見	対応
平井会長	現在の農作業従事者は80歳代であり、5年後どうなるか分からない。土地交換するにしても当事者同士ではうまくいかないの で、行政の誘導が重要だ。	土地利用の資料へ、行政も参加するエリアマネジメントの検討課題として記載する。
下川会長	担い手が少なくなる中、新たな担い手の育成とスマート化が重要	土地利用とスマートシティの資料へ、検討項目の一つとして記載する。
大和委員	底地の権利はそのまま耕作者が変わると いう手法もある。地域を巻き込んだ議論が 必要だ。	地域と話し合いながら、土地の集約手法を 検討していく。
下川会長	エリマネで営農を継続するという考えもある。	土地利用の資料へ、検討項目として記載する。
下川会長	土地利用の意向についてはアンケートだけでなく、個別のヒアリングも必要。	今後、取組みを検討する。

(4) エリアマネジメントについて

発言者	委員会意見	対応
田中委員	エリアマネジメントには地権者だけでなく、 周辺住民の参画も必要ではないか。	まちづくり協議会には周辺住民も含まれて おり、参画は必要と考えている。
田中委員	農地の調整でまちづくり協議会の役割が 大きくなるが、市の支援が必要である。	エリアマネジメントの中に市が入っており、 引き続き協議会と連携して取り組んで いきたい。
西藤委員	中心市街地の活性化も課題であり、外部から 新幹線新駅周辺に人を呼び込むエリア マネジメントを行う必要がある。	新幹線駅周辺のエリアマネジメントで求め られることを、今後研究する。
西出委員	先進事例から学ぶことは大事だが、越前市の 人口規模で継続可能な事例が必要ではない か。	今後、具体的な取組み内容や事業スキーム などの調査を進めて参考にしたい。
大和委員	緑地の管理も取り組む内容の一つとして考 えられるのではないか。	エリアマネジメント組織の具体的な活動内 容や、組織の収入源については、今後研究 の必要があると認識している。
下川会長	駐車場運営のような基本的な収益について 研究する必要がある。	同上
下川会長	オープンイノベーションの発想をエリアマ ネジメントに落とし込む必要がある。	オープンイノベーションの進捗に合わせ、 その内容を反映していきたい。
下川会長	会社化が理想である。	組織の対外的信頼性と権利関係の明確化が 必要となれば、方向性の一つとして検討し たい。
下川会長	越前市に合う形について次年度以降研究す る必要が有る。	今後も研究していきたい。